

# 諫早市教育委員会議事録

平成31年第2回（2月定例）

# 平成31年第2回（2月定例）教育委員会

1 日 時 平成31年2月15日（金） 14時00分～16時00分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦  
委 員 緒方 正親  
委 員 秀島 はるみ  
委 員 大石 竜基  
委 員 宮本 峻光

4 会議に出席した事務職員

教育次長	井上 良二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	福元 英典
生涯学習課長	藤山 誠治
文化振興課長補佐	坪内 理子

5 議題

報告第1号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（諫早市奨学金貸付基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例））

報告第2号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成30年度諫早市一般会計補正予算（第5号）」中、12款教育費））

報告第3号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成31年度諫早市一般会計予算」中、12款教育費））

議案第1号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

## 議事録署名人の指名

大石委員と秀島委員を議事録署名人に指名

## 議事録の承認

- 平成31年第1回（1月定例）教育委員会の議事録について

## 教育長等の報告の要旨

### 1 教育長の報告

#### ○学校給食交流会について

1月25日に学校給食交流会を行った。真崎小学校では「昔の給食」のテーマの給食であった。

#### ○小長井地区3小学校の合同授業について

今年度は、小長井3小学校で試行している。1月28日に3年生と4年生が5時間目と6時間目に外国語活動と体育を入れ替わりで行った。2月13日には6年生の授業で、中学校の数学の先生が出前授業を行った。今年度は、打合せの方法、カリキュラムの合わせ方、時間割の摺り合わせ方などの課題を調整しながら行ってきた。次年度は、今年度の実績を踏まえて、全学年で実施予定。1年生から6年生のそれぞれの発達段階に応じた友達との出会いといった価値はあるだろう。

#### ○第4回長崎県都市教育長協議会について

2月16日に第4回長崎県都市教育長協議会が島原市で行われた。4つの柱で意見交換を行った。

- ・学校施設の統廃合に関する計画及び学校施設の後利用について
- ・学校現場における業務改善について
- ・「子ども議会」の開催状況について
- ・学校施設のエアコン設置の進捗について

#### ○みはる台小学校育友会の文部科学大臣表彰受賞祝賀会について

2月9日にみはる台小学校育友会の文部科学大臣表彰受賞祝賀会が行われ出席した。諫早市では19年ぶりの受賞であった。

#### ○3月定例市議会について

平成31年第1回市議会定例会が2月22日に開会して行われる。3月補正予算、次年度の当初予算などの審議予定。

《教育長の報告に対する質問・意見》 なし

## 2 教育次長の報告

- 平成30年度一般会計款別内訳について
- 平成31年度一般会計款別内訳について

《教育次長の報告に対する質問・意見》 なし

## 《 議 事 》

- 1 報告第1号 臨時代理の報告について(議会の議決を経る議案についての意見の申し出について(諫早市奨学金貸付基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例))

教育総務課長 説明

質問・意見 なし

了 承

- 2 報告第2号 臨時代理の報告について(議会の議決を経る議案についての意見の申し出について(「平成30年度諫早市一般会計補正予算(第5号)」中、12款教育費))

教育総務課長 説明

[委員]

エアコンを実際に運用するときの電気代も計上されているのか。

[教育総務課長]

電気料金については、今後、補正予算での対応になる。今回の予算は、設置工事費である。

[委員]

設置するのは教室だけか。体育館には設置しないのか。

[教育長]

特別支援学級を含めた普通教室全部と、特別教室は、図書室、音楽室、理科室、通級指導教室に設置することになっている。体育館への設置予定はない。

[委員]

今、夏季の子どもたちの試合の場所としてエアコン設備がないところは極力避けることとなっている。学校の体育館に設置しないと、やがて練習をできなくなるようになりはしないか。

[教育長]

今回、国が全国一斉にエアコンを設置するという事で臨時特例交付金の措置がなされたが、その対象は教室となっている。体育館は、その対象となっていない。体育館に付けるとなると、それは防災のためなのか、社会体育のためなのかという課題もあり、教育委員会だけの判断ではできない。

[委員]

エアコンの設置は、全体が終了するのはいつぐらいか。そのことで議会でも共通の認識を持っているのだろうか。

[教育長]

今度の議会でそのことは認識してもらえと思う。

[教育総務課長]

9月議会では、31年度から32年度の2か年はかかる見込みで、市長からも話がなされたところであったが、国が来年度早急に設置できるようにということで第1次補正予算による臨時特例交付金できた。これに伴い11月の臨時市議会で設計業務の委託料を計上した。工事については、夏には間に合わないが、できるだけ今年中に完了を目指して進めている。

[委員]

一般の市民の方々、保護者は報道されている部分でとらえている。42校全部を一斉に工事を始めるわけではないだろうが、いかがか。

[教育総務課長]

いくつか分割して工事を発注するが、発注時期に関してはできるだけ同時期に発注して、概ね同じ時期に進んでいくと思う。なかには少し早めに設置が終わる学校もあるなど、多少ずれることはあるかもしれない。

[委員]

学校ごとの設置順については、保護者からの不満も出やすいと思うから、身体の発育が未熟な低学年の小学1年生のクラスからとか、受験を控えた中学3年生のクラスからとかしてもらえたら、どこの学校は済んだ、どこの学校は来年だとかいった不満は避けられると思う。

[教育長]

発注の段階で順序を付けるのであれば、そういった配慮が必要だと思うが、課長が説明したように、発注はいくつかのエリアに分けて一斉に行う。一斉に工事にかかっても、学校の造りとか規模とかによって終わる時期にずれが出てくるかもしれないが、順序は考えていないし、その方がより平等だと考えている。

[委員]

ブロック塀撤去・改修工事の西諫早中学校はグラウンド西側のことか。あそこが設置された経緯は、グラウンドからの巻き上げ砂が近隣の住宅に飛んでくるのを防止するためということがあったと思うが、その対策は何か考えているのか。

[教育総務課長]

4校すべてのブロック塀を改修するフェンスは、防音・防砂フェンスで、砂が飛んでいかないような対策にしている。

[委員]

学校のグラウンドは泥・砂なので子どもたちが転んで擦り剥いて破傷風菌の感染源になる。そういうことも考えて丈夫な芝を張るのが防砂という面では一番効果があるし、子どもの破傷風感染予防のいい対策になる。そういうことは、まだ、全然考えていないか。

[教育総務課]

そのような対策を検討したことはない。

了 承

- 3 報告第3号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成31年度諫早市一般会計予算」中、12款教育費））

教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、文化振興課長補佐 説明

[委員]

給食センターについて、東部はすでに民間委託しているがその業者の評判はどうか。また、アレルギー対応食は民間委託してもそのまま継続するのか。

[委員]

関連して、西部が委託されることで、これまでの経費と比較して主に何がどれくらい削減されるのか。

[教育総務課長]

東部給食センターについては、衛生管理など徹底されていて大きな事故等もなく評判はいいと思っており、順調に民間委託ができています。また、アレルギー対応についても、引き続き同じように行っていく。民間委託後の経費的縮減については、市の行政改革の基本的なものであり、民間に委ねられるものは民間に委託していく考えである。給食調理にかかる経費では、職員の人件費が大きく占めており、人件費の削減が見込まれると思っている。

[委員]

プロポーザルはどういった基準で選定するのか。

[教育総務課長]

給食に関する基本的考え方、衛生管理に関する考え方、アレルギーに対する取り組み、これまでの他自治体での実績、市が提示した委託料の上限額以内での見積額など提案書を出してもらい、提案書に基づいたプレゼンを行ってもらい、5人の委員による審査委員会で評価をして委託契約の交渉権者として選定した。

[委員]

給食として一番大事なことは、如何に食べてもらうかということと思うが、民間委託後に残さい（食べ残し）が増えてきたとかいうことはないか。

[教育総務課]

給食の残渣量は毎年、西部、東部給食センターでデータを取っており、西部と東部で大きく差があるわけではない。全国的な残渣量の割合と比較して諫早市は少ない状況である。

了 承

#### 4 議案第1号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

教育総務課長説明

[委員]

教育委員会会議の傍聴者の状況で、平成29年度傍聴者なしであることを考えてみると、傍聴に値しないということなのか、或いは、傍聴するまでもなくしっかりと行われているということだろうか。

[教育総務課長]

教育委員会会議は、市民の皆さんに興味を持ってもらいたいと思っている。ホームページにも開催の案内や教育委員の活動状況など広報をしてきており、以前は、数名傍聴もあっているが平成29年度は傍聴がゼロだった。何らかの方策が取れないか考えている。

[委員]

自分自身では、いろいろ興味を持ってみなさんと話をしているが、あまり問題点がないので、一般の人は興味を示さないで来ないのかなとプラス面で考えているのだが。

[教育長]

学識経験者の意見でも、市民参加の意欲喚起がますます図られますようにと書かれてある。議会の教育福祉委員会でも議員から傍聴者がいないのでいかなものか、何か努力しないといけないのじゃないかとの指摘を受けたこともある。ホームページや市報で広報しているが、なかなか他の手立てというのが難

しい。何か方策を考えてみたい。

[委員]

ホームページで議事録を開示しているが、どれだけの人が見ているのかカウントできないのか。

[教育次長]

そのページにアクセスしたカウントができるのか確認してみたい。

原案どおり可決

#### 《学校教育課長の報告》

○浜教育文化賞・栗林スポーツ賞表彰式について

○部活動ガイドラインについて

[委員]

大会への参加が年に9回というと、真夏と真冬を除くとほぼ毎月あるということになるので、むしろそれでも多すぎると思う。中総体と新人戦の2回であるが、中総体は市の中総体があって、県の中総体、九州大会、全国大会とそれだけでも4回になる。今増えてるのは、自分たちで何々杯とか作っている大会で、その度に行っている。そういうのは、練習試合とか記録を留めておくぐらいにしないと、子どもたちが休む暇がない。強いところはどうしても勝ちたいものだから、少々怪我をしていても無理をして出して大きな怪我につながる。

[学校教育課長]

県でも一応その動きでやっている。調べてみると陸上競技が9回の最大であったということで、そのあたりも勘案して年間9回を上限とされた。招待試合とかそれぞれで行っている何々杯とかいう大会を削減していこうという動きになると思う。

[委員]

陸上では、特に駅伝大会に出ているのは必ずしも陸上の選手ではない。ある学校では、陸上部よりも他の部活をしている選手で確保しており、自分の部活の練習をしたうえに更に駅伝で走り故障者が出ている。しかも能力のある子が選ばれるからそれだけ負担が大きくなる。

[委員]

今年、中学校の長距離で諫早市の中学生2人が県の選抜に選ばれているのに、都道府県選抜大会の前に2人とも怪我している。あきらかに試合数が多い。一番出場したい大会なのに怪我で出られなくてかわいそうだと思う。2人ともというのは試合数が多すぎるとか何か因果関係があるのかな。

[委員]

残念なことに、現場では子どもたちが指導者に対してきついとか痛いとか言



えない。ハラスメントに近いようなことが現場にはある。

[委員]

軟式野球だったか、70球という制限があるというのをニュースでもやって  
いた。上からそういった指示もあるだろうが、保護者の啓発というのもやって  
いけないといけない。自分の子どもは親が守ることを徹底していくため教育委  
員会、競技団体、両方からの働きかけが大事。子どもも保護者も言えるような  
環境づくりを進めてもらいたい。

[教育長]

部活の在り方については、今後もさまざまな課題が出てくるであろうから皆  
さんと考えていけないといけないテーマである。

[委員]

日本のシステムというのは、これが最善だと思って作り上げるとそれで終わ  
り次の検証をしない。次に変わるまでのスパンが長すぎる。だから、今はこれ  
が最善だと思ってやってみても、本当にそれでいいのか検証して、上書き上書  
きを続けていけないといい制度というのはできないと思う。ぜひ検証を続けて  
ほしい。

## その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

16時00分閉会